

MHAM日本株式<DC年金>

追加型投信／国内／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年3月12日～2020年3月9日

| | | |
|----------------------|---------------|----------|
| 第19期 | 決算日：2020年3月9日 | |
| 第19期末 (2020年3月9日) | 基準価額 | 12,883円 |
| | 純資産総額 | 1,803百万円 |
| 第19期 | 騰落率 | △8.5% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

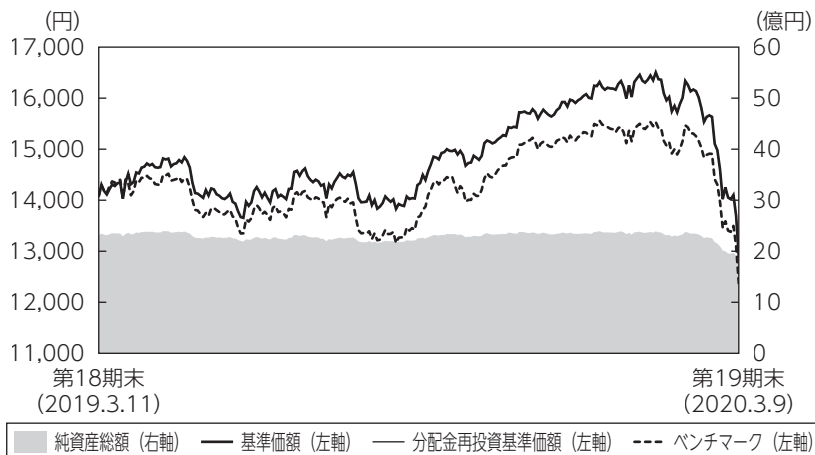
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（東証株価指数（TOPIX））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の「当ファンドのベンチマークについて」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

「日本株式マザーファンド」（以下、マザーファンド）受益証券への投資を通じて、国内株式に投資を行った結果、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、実態経済と国内企業業績への懸念が強まったことなどを背景に国内株式市場が下落したことから、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第19期 | | 項目の概要 |
|---------------------|----------------------------|------------------|--|
| | (2019年3月12日 ～2020年3月9日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 239円 | 1.603% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,898円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (投信会社) | (94) | (0.628) | |
| (販売会社) | (132) | (0.888) | |
| (受託会社) | (13) | (0.087) | |
| (b) 売買委託手数料 | 19 | 0.129 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (19) | (0.129) | |
| (c) その他費用 (監査費用) | 0 (0) | 0.002 (0.002) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| 合計 | 258 | 1.733 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

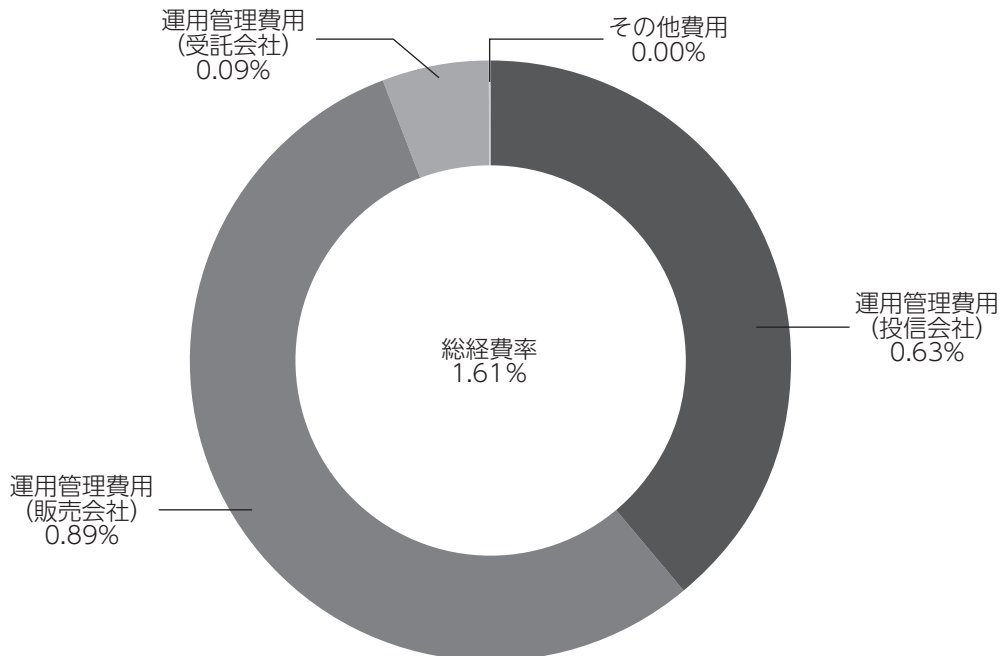
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



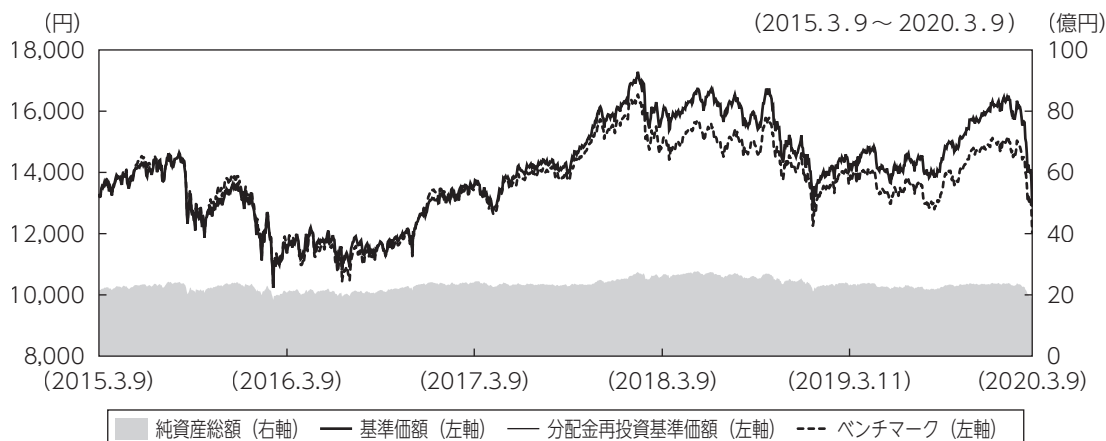
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

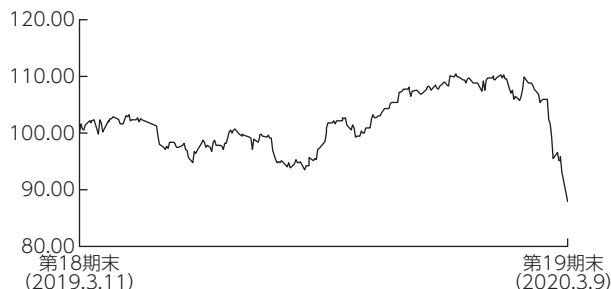
(注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（東証株価指数（TOPIX））は、2015年3月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | | 2015年3月9日 期首 | 2016年3月9日 決算日 | 2017年3月9日 決算日 | 2018年3月9日 決算日 | 2019年3月11日 決算日 | 2020年3月9日 決算日 |
|----------------|-------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|
| 基準価額（分配落） | (円) | 13,262 | 11,358 | 13,572 | 15,811 | 14,083 | 12,883 |
| 期間分配金合計（税引前） | (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | △14.4 | 19.5 | 16.5 | △10.9 | △8.5 |
| ベンチマークの騰落率 | (%) | — | △13.0 | 16.7 | 10.3 | △7.8 | △12.2 |
| 純資産総額 | (百万円) | 2,164 | 2,068 | 2,413 | 2,628 | 2,315 | 1,803 |

投資環境

●国内株式市場

<東証株価指数 (TOPIX) の推移>



(注) 期首の値を100として指数化しています。

当期の株式市場は東証株価指数 (TOPIX) でみると、12.2%下落しました。期首から9月下旬にかけては米中貿易協議の結果に一喜一憂する中、ボックス圏での推移となりました。その後、年末にかけては米中貿易協議の進展期待が高まり、景気減速懸念が後退したことから上昇基調となりました。期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、世界経済への悪影響が意識されたことから大幅に下落して終わりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドは、マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

●日本株式マザーファンド

中長期的に株主価値が高まっていく方向にある企業群の中から企業価値面でも魅力の高いと判断される企業を選別して投資しました。具体的には、「アドバンテスト」、「花王」、「イビデン」、「TDK」、「Zホールディングス」などを購入しました。一方で「伊藤忠商事」、「日本電産」、「三菱UFJフィナンシャル・グループ」、「バンダイナムコホールディングス」、「アサヒグループホールディングス」などについて売却を実施しました。

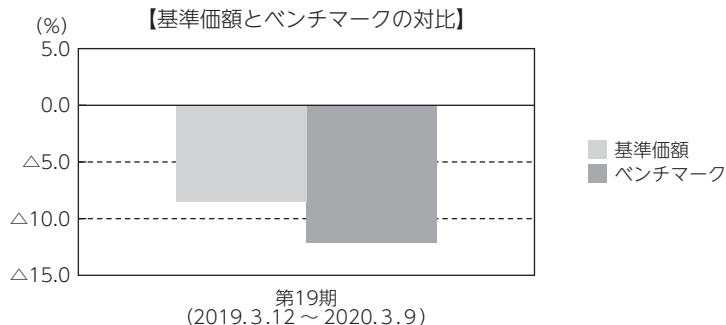
【組入上位業種】

| 期 末 | | |
|-----|--------|------|
| 順位 | 業 種 | 比率 |
| | | % |
| 1 | 電気機器 | 13.7 |
| 2 | 情報・通信業 | 11.4 |
| 3 | 化学 | 8.3 |
| 4 | 輸送用機器 | 6.8 |
| 5 | 機械 | 6.1 |
| 6 | 医薬品 | 5.4 |
| 7 | 建設業 | 5.2 |
| 8 | その他製品 | 5.2 |
| 9 | サービス業 | 5.0 |
| 10 | 保険業 | 4.4 |

(注) 比率は、「日本株式マザーファンド」の純資産総額に対する割合。

ベンチマークとの差異について

マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式に投資を行った結果、ベンチマークを3.6%上回りました。「リンクバル」、「ブシロード」などがマイナスに影響しましたが、「アドバンテスト」、「ワークマン」などがプラスに寄与しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|--------------------------|
| | 2019年3月12日 ～2020年3月9日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 |
| 対基準価額比率 | －% |
| 当期の収益 | －円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 11,495円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。

●日本株式マザーファンド

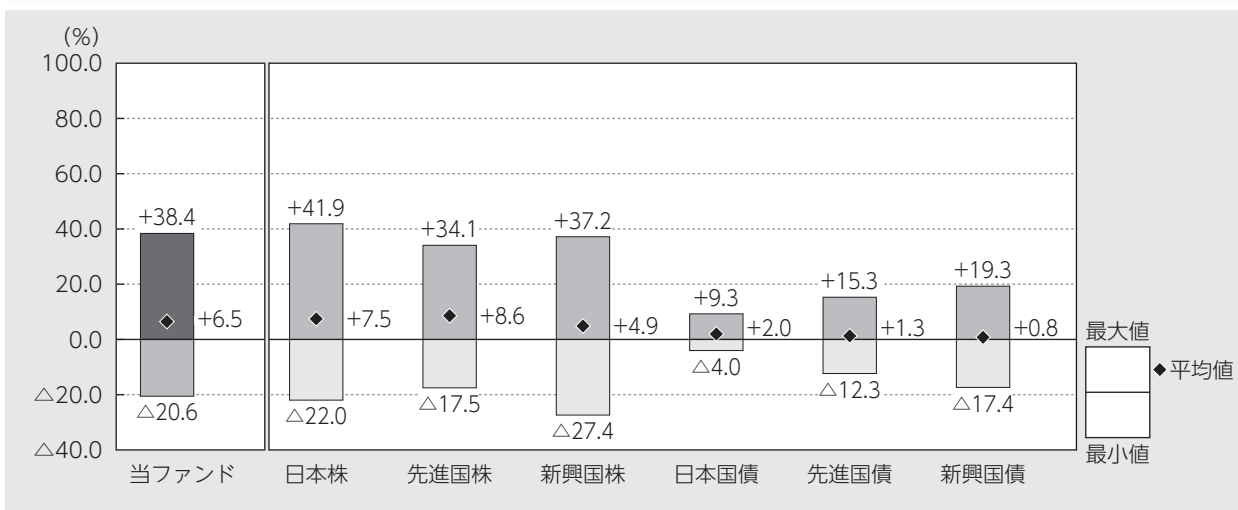
新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済へのマイナス影響には留意が必要と考えますが、各国が景気刺激策を打ち出す可能性があることなどから、今後の国内株式市場は徐々に落ち着きを取り戻すものとみています。今期についても、中長期的に株主価値が高まっていく企業群で、且つバリュエーション面でも魅力が高いと見込まれる企業に選別投資していくことで、TOPIX対比での超過収益獲得に努める所存です。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|-----------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 2001年11月5日から無期限です。 | |
| 運用方針 | わが国の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。 | |
| 主要投資対象 | MHAM日本株式 < D C 年金 > | 日本株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 日本株式 マザーファンド | わが国の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 日本株式マザーファンドを通じてベンチマークである東証株価指数（TOPIX）を上回る運用成果を目指します。株式の組入比率は高位を保つことを基本とします。銘柄選定にあたっては、企業調査による中長期的な利益成長性の分析、株価水準の評価などに基づき投資魅力が高いと判断される銘柄を厳選し投資します。 | |
| 分配方針 | 毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 | |

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビ－ファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年3月～2020年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年3月9日現在）

◆組入ファンド等

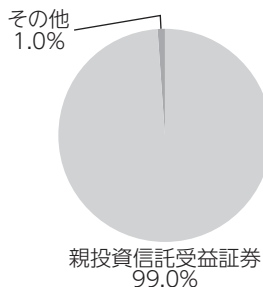
（組入ファンド数：1ファンド）

| | 当期末 |
|-------------|-----------|
| | 2020年3月9日 |
| 日本株式マザーファンド | 99.0% |
| その他 | 1.0 |

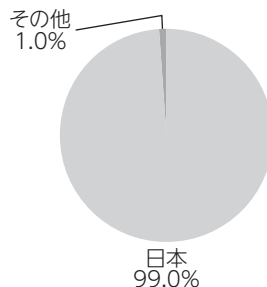
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

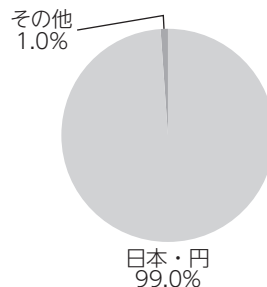
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

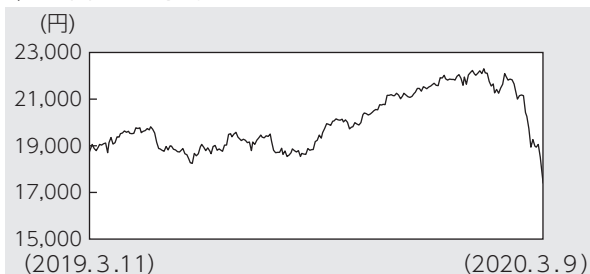
| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2020年3月9日 |
| 純資産総額 | 1,803,715,778円 |
| 受益権総口数 | 1,400,035,889口 |
| 1万口当たり基準価額 | 12,883円 |

（注）当期中における追加設定元本額は300,175,557円、同解約元本額は544,130,510円です。

組入ファンドの概要

【日本株式マザーファンド】（計算期間 2019年3月12日～2020年3月9日）

◆基準価額の推移



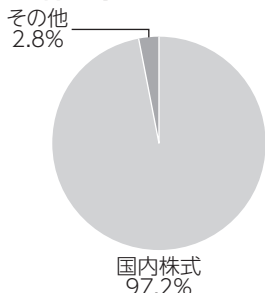
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-----------------|------|------|
| ソニー | 日本・円 | 4.1% |
| 武田薬品工業 | 日本・円 | 3.1 |
| H O Y A | 日本・円 | 2.9 |
| 信越化学工業 | 日本・円 | 2.8 |
| 三井住友フィナンシャルグループ | 日本・円 | 2.7 |
| 花王 | 日本・円 | 2.7 |
| 村田製作所 | 日本・円 | 2.6 |
| 三菱商事 | 日本・円 | 2.6 |
| ダイキン工業 | 日本・円 | 2.5 |
| 任天堂 | 日本・円 | 2.4 |
| 組入銘柄数 | 62銘柄 | |

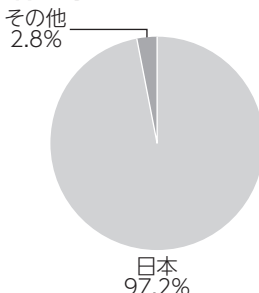
◆1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|----------------------|-------------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 26円 (26) | 0.130% (0.130) |
| 合計 | 26 | 0.130 |
| 期中の平均基準価額は20,006円です。 | | |

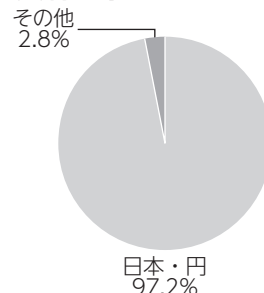
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●東証株価指数（TOPIX）

「東証株価指数（TOPIX）」は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※ベンチマークは配当を除いた指数です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

